

Experience Fruit Picking in TOHOKU ～東北の「農芸品」の魅力を伝える～

背景・目的

東北は、サクランボやリンゴ、桃などをはじめとする全国有数の果物生産地であるが、観光果樹園は収穫方法やマナーの外国語表記や交通アクセスをはじめとする受入環境整備の対応が進んでいない。また、原発事故による風評面での課題も存在。

→ 東北各地の観光果樹園が果物狩りのマナーを説明できる環境を整備するなどして、外国人観光客が安全で高品質な東北産果物の収穫体験を楽しめる旅行商品のモデルを構築する。
(対象市場：タイ、台湾、中東・西アジア等)

主な実施取組の内容

【取組① 果物狩りを体験する旅行商品の造成】

四季折々の果物を使って、通年で販売可能な旅行商品を造成し、果物ごとの収穫方法を簡単にまとめたパンフレットを作成。

- 旬の果物狩りを核とした団体向け旅行商品24件、個人向け旅行商品54件造成

- 東北の主要果物のサクランボ、桃、ブドウ、梨、リンゴ、イチゴの収穫方法と、果物狩り食べ放題のルールを記載したパンフレットを作成

(英語、中国語(繁体字)、タイ語)

■ 収穫方法などをまとめたパンフレット



【取組② レンタカー利用による交通アクセスの整備】

レンタカー会社と連携し、観光果樹園を起点とした外国人向け観光モデルコースを作成、利用者に配布。

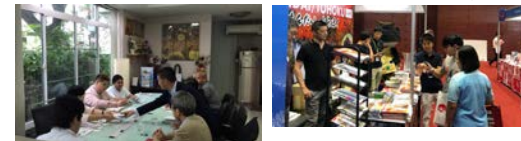
■ 県ごとのドライブコース



【取組③ 海外プロモーション】

タイ、イスラエルでの国際旅行博に出展し個人客へのプロモーション活動を展開したほか、現地旅行会社に旅行商品の造成協力と福島県内観光の安全性を訴求

■ 海外の旅行代理店訪問 ■ 国際旅行博への出展



- バンコク
国際旅行博「T I T F」に出展
在外県人会に情報提供 等
- テルアビブ
国際旅行博「IMTM2019」に出展
- 上記の他、現地の旅行会社を訪問

成果目標

- 送客数 1,700人
- 延べ宿泊者数 2,550人泊

実績

- 送客数 2,263人
- 延べ宿泊者数 8,115人泊
- ※ 商品タイプ別販売実績
団体2,150人/7,975人泊 個人113人/140人泊

※対象市場別販売実績
台湾 2,057人/7,612人泊
タイ 119人/343人泊
中東西アジア14人/40人泊
その他 73人/120人泊

得られた成果

- いちごやりんごを中心に計画的に外国人観光客を受け入れ、**地元果樹園等が外国人観光客の来訪を実感。**
パンフレットを活用した外国語対応、誘導サインの多言語化等の効果的な受入環境整備に繋がった。
- 海外旅行会社が通年の誘客資源として価値化したことで、樹氷や酒蔵と組み合わせる等による**東北の回遊性を高めた多様な商品化**に至った。

今後に向けた課題・活動の見通し

- 他エリアとの一層の差別化を図るため、各果樹園において、採れたての果物に限らず加工品を含めた顧客価値の向上に努める。
- 今回参画した事業者以外も含めて地域の観光資源としての価値を高め、東京五輪・パラリンピックや2021年以降の訪日外国人旅行者の獲得に繋げる。